

「朝日さす 夕日輝く  
領いけに だい非の光

有明の月

曹洞宗 延命山 常楽寺  
会津美里町大字藤家館字領家  
本尊 十一面観世音 集落管理

駐車場 あり  
トイレ なし

建長元年(一二四九)に、美濃国より来た常延が十一面観音像を安置し創建します。建てたという。永禄の頃(一五五八、一五七〇)までは、阿弥陀、観音、地藏、大師、十王動堂の跡があったという。大永三年(一五二三)のワニ口があつちという。寛文年間の十七世紀中頃に堂が再建されています。



道路に駐車。集落内道路狭し。「領池の」は「領池に」が正しい。

「朝ぼらけ 賑わう 里に  
立つ煙 誠の 人を

とむる富岡

天台宗 日用山 福生寺  
会津美里町大字富川字富岡甲八  
本尊 十一面観世音 集落管理

駐車場 あり  
トイレ なし

西国三十三所、満願となる岐阜県、美濃国谷汲山華嚴寺(たにくみざんげご分んじ)の創建に関わる大口氏が住んでいた所とされ、ゆかりの地に、華嚴寺の援助で寺が建てられます。堂は国指定重要文化財で、床下からは石に墨で経文が書かれた経石が出土しました。堂の西側墓地には、キリシタン墓があります。



大口大領(おおぐちだいらょう)の子孫は30代目大口和彦さんで、華嚴寺の門前で「富岡屋」という蕎麦屋をしています。

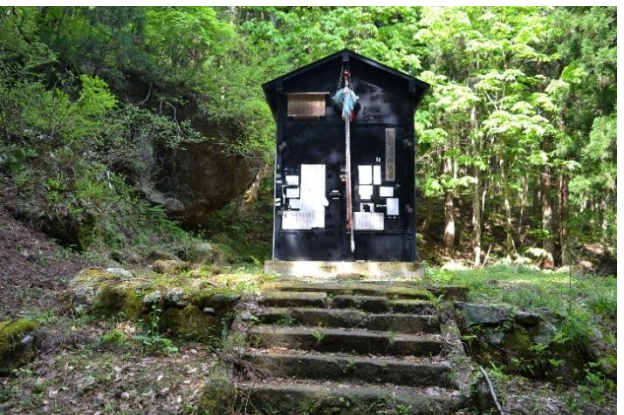
「近く見て 遠く 登るは  
大岩の 池も 誓いも

深き谷河

天台宗 錫杖山 法輪寺  
会津美里町兜  
本尊 聖面観世音 集落管理

駐車場 なし  
トイレ なし

ふもとの宵集落から林道を登ること約十は大きな岩があることから大岩と呼ばれています。昔は、小堂のある所に観音堂があり、南の岩屋建物がありました。寛永三年(一六三六)大雪で倒壊し、寛文六年(一六六六)小堂が建てられました。さらに山奥なため宵集落内に堂が建てられました。



この堂近くまで、舗装道路がありマイク口で行けますので行きましょう。御詠歌は、まったく異なり「近く見て～」が正しい。

